

事業 41	方針等 区分	(方針 5) ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策10) ものづくり産業と教育機関の連携強化		平成26年度			
	事業名	高校生のインターンシップ事業		予算額	1,023 千円		
				決算額	540 千円		
	事業概要	<p>学生が在学中に職業体験を行うインターンシップ制度の普及・啓発に取り組みます。</p>		<p>取組状況</p> <p>H26.9.1 現在</p>	<p>■対象 市内高校の2年生</p> <p>■ジュニアインターンシップの既実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 99人</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 新規受入可能事業所数 48事業所</p> <p>■執行額 ジュニアインターンシップ推進業務委託料 540,000円</p>		
		補足事項	<p>高校生の職業意識を高めるため、ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓を行うとともに、実施期間や職種を希望校(生徒)が選択できるよう充実した内容にしていきます。</p>		<p>H26.9.1 現在</p>		(%)
				<p>進捗率</p> <p>H27.3.31 現在</p>	<p>(参加者数) H24 / 86人 H25 / 98人 H26 / 99人</p>	<p>(実施生徒数) 104.8 (%)</p>	
	成果目標	参加者 90人/3年		事業 評価	<p>事業結果</p> <p>■ジュニアインターンシップ実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 99人</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所 81事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 48事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ実施の可否確認 市内高校全校</p>		
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援				
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援				
		中施策	①企業と人材のマッチング				
産業振興 プランの 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>前年度同様、インターンシップ生と受け入れた企業の双方にアンケートを実施し、自己評価と他者評価を見比べる手法を取り入れ、それらをインターンシップ生にフィードバックすることで、高校生の就業意識向上に役立った。</p> <p>受入企業の開拓に苦慮している学校向けに、企業の受入リストの提示を行う等、各校の実態に合わせたコーディネートを実施した結果、今年度は前年度以上の参加者を確保した。来年度以降においても、より多くの参加を促していきたい。</p>			
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり					
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度					
	事業名	体験型観光プログラムの開発と誘客の推進		予算額	4,300 千円				
				決算見込額	4,300 千円				
	事業概要	地域産業を生かし、茶摘み、森林産業、漁業、伝統工芸品づくりなど体験観光プログラムを開発するとともに、旅行代理店を通じて海外や首都圏等にセールスし、教育旅行や観光客の増加を図ります。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>■静岡型体験観光推進事業補助金による支援 静岡市内における体験教育旅行を受け入れている任意団体「しずおか体験教育旅行」の活動に対して助成を行う。 (平成26年度予算額 4,000千円) 「しずおか体験教育旅行」は、実際に担当の先生方に、本市ならではの体験プログラムを体験していただくモニターツアーや体験型観光ツアーの実施、県内外における誘致活動を行ったほか、教育旅行の受付窓口として、各種体験プログラムの取りまとめなど、学校や旅行エージェントとの調整等を行っている。</p> <p>■誘致活動の実施 市、しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会の共同で、国内外へ教育旅行の誘致活動を実施している。 (平成26年度予算額 300千円) しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会等と共同で、首都圏の小中学校への訪問・誘致活動や台湾での現地商談会へ参加し、本市の体験プログラムのPRを実施する。</p>				
					補足事項	進捗率	H26.9.1 現在	(訪日教育旅行誘致件数) 9件 台湾9件	112.5 (%)
	H27.3.31 現在	①訪日教育旅行誘致件数 12件 (台湾12件) ②体験プログラム実施数 4,610件/H22~H26	(訪日教育旅行誘致件数) 150.0 (体験プログラム実施数) 120.1 (H22~26計)						
	成果目標	(参考) 首都圏や海外からの教育旅行の誘致推進 ・訪日教育旅行誘致件数 8件/年 体験プログラム実施数 ・3,830件/H22~H26計		事業評価	<p>【市】 ①しずおか体験教育旅行に対して補助金を支出した。 ②しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会と共同で誘致宣伝活動を実施した。</p> <p>【しずおか体験教育旅行】 国内外からの教育旅行誘致のため、下記の宣伝・誘致活動や体験プログラムの充実に向けた取り組み等を行った。 ・来静を予定・検討している教育関係者による実地調査への同行 4月24~25日(八王子市内小学校、教育委員会から24名参加) ・首都圏等の学校の先生や教育関係者、旅行会社を対象としたモニターツアー 11月1日(日本平・三保周辺の体験施設等) 1月18日(両河内地区の体験施設等) ・首都圏等への学校訪問・誘致活動 11月26~28日 八王子、横浜市内の小中学校訪問 12月15~17日 横浜市内の小中学校訪問 1月20日~22日 名古屋市内の小中学校等訪問 ・台湾現地商談会への参加及び現地旅行会社訪問 6月3~5日 台北・台南・高雄の3都市で実施 ・台湾教育旅行関係者招請事業における商談会 12月12日 台湾教育旅行関係者約80名</p>				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化		事業結果				
	産業振興プランの位置付け	大施策	(1) 戦力的な観光振興による国際競争力のある観光地			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>国内の教育旅行について、中京圏の小中学校から静岡体験教育旅行への問い合わせが依然多い状況にあることから、平成27年度も中京圏に対し誘致活動を実施していく。また、首都圏等の学校に対しては継続して誘致活動を行っていく。 海外の教育旅行について、台湾への継続的な誘致活動を行うとともに新規開拓先としてオーストラリアへの誘致活動を行っていく。 平成28年度にオーストラリアで日本語学校の教育関係者が集まる会議があり、訪日教育旅行誘致のプレゼンテーション、ブース出展が可能であるため、平成27年度に体験メニュー等の静岡市独自のプログラムをまとめたプレゼン資料を作成などの準備を進めていく。</p>		
		中施策	⑤様々な主体による静岡ブランドの構築と国内外への発信						
産業振興プランの位置付け	基本方針	1 まちを「楽しむ」産業の振興	基本施策						
	基本方針	(1) 地域資源の観光活用							
	基本方針	①体験型観光の振興							
担当課等	経済局商工部 観光・シティプロモーション課 観光振興係		その他(特記事項)	「体験型観光プログラムの開発」については事業43での取り組みと密接な関わりがある。					

事業 43	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度			
	事業名	産業観光等のニューツーリズムの推進		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	お茶や伝統工芸などの豊富な産業資源を活用し、産業・体験型観光を活性化し、他地域との差別化を行い観光交流客の増加を図ります。		取組状況 H25.9.1 現在	■産業観光の推進 「感動」「体験」などの観光トレンドを追い風にして、地域の強みである産業資源を活用した観光メニューの開発と観光客受入の準備を推進する。		
		補足事項			H25.9.1 現在	(%)	
					H26.3.31 現在	(%)	
	成果目標	関係団体等との連携強化による体験プログラムの開発及び充実		事業評価	事業結果 【静岡県中部地区観光協議会】 静岡県中部地区観光協議会において、推進体制を産業と食ツーリズム、スポーツツーリズム、教育交流を検討する3ワーキンググループ体制とし、産業観光をはじめ、グルメやお茶、スポーツやサイクリングなど様々なテーマ別観光メニューの推進を検討した。スポーツツーリズムの推進においては、島田市および大井川鐵道株式会社と共同で、サイクルトレインの導入に向けてのモニターツアーを実施した。		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化				
		大施策	(1) 戦力的な観光振興による国際競争力のある観光地				
		中施策	⑤様々な主体による静岡ブランドの構築と国内外への発信				
産業振興プランの位置付け	基本方向	1 まちを「楽しむ」産業の振興	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等				
	基本方針	(1) 地域資源の観光活用					
	基本施策	①体験型観光の振興					
担当課等	観光交流文化局 観光交流課 観光振興係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度		
事業名	経済セミナー等の開催	予算額	指定管理料 50,536千円の一部			
		決算見込額	指定管理料 50,536千円の一部			
事業概要	<p>クリエイター支援センター等の本市の産業支援施設において、国内外の一流の産業人等によるセミナー、ワークショップ等を開催します。</p>	取組状況	H26.9.1 現在	<p>(静岡市クリエイター支援センター) 【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「へんてこいきものパーク」子どもワークショップ ・FLASHアニメーションワークショップ ・DESIGN WORKSHOP ITARIA×SHIZUOKA <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のCMフェスティバル ・しりあがり寿の「どこまでやるら」 ・NCC Shizuoka (継続開催中) <p>(今後の予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡の「あれこれ」を勝手にプロデュース (企画展) ・DOTMOV FESTIVAL2014 		
			補足事項	進捗率等	H26.9.1 現在	
			H27.3.31 現在	(セミナー等開催数) H24 / 5回 H25 / 4回 H26 / 4回 計 / 14回	155.6 (%)	
成果目標	セミナー等開催数 9回/3年					
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針		事業評価	<p>(静岡市クリエイター支援センター) 【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「へんてこいきものパーク」子どもワークショップ ・FLASHアニメーションワークショップ ・DESIGN WORKSHOP ITARIA×SHIZUOKA <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のCMフェスティバル ・しりあがり寿の「どこまでやるら」 ・NCC Shizuoka ・静岡の「あれこれ」を勝手にプロデュース (企画展) ・DOTMOV FESTIVAL2014 		
	大施策					
	中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の未達成理由等 			
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)			

事業 45	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度			
	事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (特産品東京展示会)		予算額	4,640千円		
				決算額	4,640千円		
	事業概要	首都圏において、本市の特産品展示販売及び実演等を実施し、本市の地場産業のPRを行います。		取組状況 H26.9.1 現在	■10月15日～17日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を予定している。今年は例年出展している、家具、駿河漆器、駿河指物等の工芸品だけでなく、市内で活躍する若手職人にスポットをあてた展示も企画している。その他、静岡市ブランド認証「しずおかプレミアム」に認証された商品の展示と販売も予定している。		
					補足事項	進捗率	H26.9.1 現在
	H27.3.31 現在	(実施回数) H24 / 1回 H25 / 1回 H26 / 1回 計 / 3回	50 (%)				
	成果目標	6回/3年 地場産品のPR及び静岡市ブランドの創出・認知度の強化		事業結果	■10月15日～17日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を行った。今年は例年出展している、家具、駿河漆器、駿河指物等の工芸品だけでなく、市内で活躍する若手職人にスポットをあてた「若手職人展」も実施した。その他、静岡市ブランド認証「しずおかプレミアム」に認証された商品の展示と販売も実施した。 期間中の来場者数 約12,600人 期間中の売上額 約5,452千円		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	〔事務担当記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項	
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	〔事業担当記載事項〕 改善点 ・ ・ 目標の未達成理由等				
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	③ 販路開拓支援					
所属部会	■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当						
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係						

ものづくり基本計画		(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度	
事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (ホビーのまち)	予算額		0千円	
		決算見込額		0千円	
事業概要	「ホビーのまち静岡」を首都圏等に向け発信することにより、静岡市のブランド力を高め、更なる購買層の拡大と業界振興につなげます。	取組状況	H26.9.1 現在	<p>下記のとおり首都圏においてプロモーションイベントを開催した。</p> <p>名称:ホビーのまち静岡in東京シティアイ 期間:平成26年5月3日～6日(4日間) 会場:東京丸の内KITTE地下1階 東京シティアイイベントスペース 概要:東京シティアイ自主企画イベントに静岡市が開催協力し、現地でPRを行った。 来場客数:29,168人</p>	
			進捗率	<p>(実施回数)</p> <p>H24 / 1回 H25 / 1回 H26 / 1回 計 / 3回</p> <p>(実施回数) 100.0 (%)</p>	
補足事項		進捗率	H27.3.31 現在	<p>(実施回数)</p> <p>H24 / 1回 H25 / 1回 H26 / 2回 計 / 4回</p> <p>(実施回数) 133.3 (%)</p>	
成果目標	PR事業の強化 3回/3年		<p>下記のとおり首都圏においてプロモーションイベントを開催した。</p> <p>■第1回目 名称:ホビーのまち静岡in東京シティアイ 期間:平成26年5月3日～6日(4日間) 会場:東京丸の内KITTE地下1階 東京シティアイイベントスペース 概要:東京シティアイ自主企画イベントに静岡市が開催協力し、現地でPRを行った。 来場客数:29,168人</p> <p>■第2回目 名称:まるちゃんの静岡音頭と模型がお出迎え!静岡市観光キャンペーン 期間:平成26年11月21日～22日(2日間) 会場:東京丸の内KITTE地下1階 東京シティアイイベントスペース 概要:観光シティアイプロモーション課との合同開催。現地でPRを行った。 来場客数:9,308人</p>		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	<p>事業結果</p>			
	大施策				
	中施策				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	<p>事業評価等</p> <p>(事務担当) 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進			
	基本施策	③ 販路開拓支援			
所属部会	<p>■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 工業振興係</p>		<p>(事業担当) 記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>		
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 工業振興係</p>				
<p>イベントスペース管理会社や関連部署の多大なる御協力により、首都圏におけるプロモーションを試験的に実施することができ、多くの来場者にホビーのまち静岡を周知することができた。来年度以降は本プロモーションに対する予算化を行い、より強力なPRが展開できるよう検討していく。また、PR先が固定しないよう、毎年実施場所を広く探していく。</p>					

事業 47	ものづくり基本計画	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度			
	事業名	静岡市ブランド認証制度の拡充		予算額	2,389 千円		
				決算見込額	1,321 千円		
	事業概要	本市ならではの魅力ある商品や製品を静岡市ブランドとして認証し、広くPRすることで、本市の認知度を高めシティプロモーションの推進を図ります。また、これを機に新たな商品や製品の開発を促進するなどの拡充に取り組みます。		取組状況 H26.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■新規認証関係 ※新規認証実施せず ■展示販売関係 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 8月29日～9月4日 		
					補足事項	進捗率	H26.9.1 現在
	H27.3.31 現在	(認証品数) H24 / 10品 H25 / 14品 H26 / 0品 計 / 24品 (展示即売会数) H24 / 5回 H25 / 6回 H26 / 12回 計 / 23回	(認証品数) 120.0 (展示即売会数) 153.3 (%)				
	成果目標	平成24～25年度 20品認証 展示即売会 15回/3年に拡充		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■新規認証関係 ※新規認証実施せず。 ■展示販売関係 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」5月13日～19日 ・静岡あさひテレビ祭り 9月27日～28日 ・静岡市の特産品 東京展示会 10月15日～17日 ・東京丸の内「KITTE」11月21日～22日 ・産業フェア 12月6日～7日 ・静岡市交流会in東京 12月17日 ・JR秋葉原駅高架下「ちゃぼら」日本百貨店 12月21日～27日 ・鞠子楽市「しずおか葵プレミアム展」1月22日～2月3日 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価等	(事務担当記載項目) 所属部会からの意見及び指摘事項	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	②地域資源を活用したブランドの構築・強化				
産業振興のプラン位置付け	基本方針	1 まちを「楽しむ」産業の振興	(事業担当記載事項) 改善点・目標の未達成理由等				
	基本方針	(2) 全国・海外への積極的なプロモーション展開					
	基本施策	①市民が誇れる静岡ブランドの確立					
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> ■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 産業振興係 						
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 産業振興係						

事業 48	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度				
	事業名	市民向けものづくり体験・学習イベントの開催		予算額	6,100 千円			
				決算見込額	6,163 千円			
	事業概要	市内ものづくり事業者等の協力のもと、広く市民に向けて市内のものづくり産業に関する学習機会として、体験型等のイベントを開催します。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>■平成26年度地場産品体験学習事業実績</p> <p>市内の小学校4年生が社会科事業の一環として「駿府匠宿」で創作体験する場合申請によりその利用に要する費用の一部を市が支援している。補助金額は児童一人最大1,740円、現在46校の申請があり、10月以降実施。</p> <p>■さらなる市民向けものづくり体験の機会としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業フェアしずおか2014で駿府匠宿がサンドブラスト等の体験コーナーを実施予定。(産業フェア:12月) ・市内ものづくり事業者協力のもと、市民向けものづくり体験型のイベントが開催予定。(ぬりものまつり:10月) 			
					補足事項	進捗率 H26.9.1 現在		
				H27.3.31 現在	(イベント参加者数) H24 / 83人 H25 / 491人 H26 / 447人 計 / 1,021人	(イベント参加者数) 340.3 (%)		
	成果目標	参加者 300人/3年		事業結果	<p>■平成26年度地場産品体験学習事業実績</p> <p>参加学校数:46校、参加児童数:3,605人 例年通り、小学校の授業を通して、子供たちにもものづくりに対する関心と理解を深めることができた。</p> <p>■さらなる市民向けものづくり体験の機会としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業フェアしずおか2014で駿府匠宿がサンドブラスト等の体験コーナーを実施した。(参加者数)183人 ・市内ものづくり事業者協力のもと、市民向けものづくり体験型のイベントが開催された。(参加者数)264人 			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等			
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向		(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項					
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	■PR促進部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業経営担当		(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等	小学4年生を対象とした体験学習事業については、小学生の体験で終わることなく、中学生、高校生につながるようなシステムが必要。				
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業係			市民向けものづくり体験については、PR方法を工夫し、より多くの方が伝統工芸に触れる機会を創出していく。				

ものづくり基本計画		(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度		
事業名	ものづくり現場企業見学会の開催	予算額	0千円			
		決算見込額	0千円			
事業概要	市内ものづくり事業者等の協力のもと、市民が市内におけるものづくり現場を見学する機会を通じて、ものづくり産業への理解促進に取り組めます。	取組状況	9.1現在	<p>■工場見学会に関する問合せ 今年度は、市内の各団体などから、工場見学を希望しているが、どのように申し込んでよいのかという問い合わせが多数あった。</p> <p>※問合せ概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学希望先 大手工場及び一部の中小製造事業所 ・人数等 10人(1団体)、20人程度(2団体) 40人以上(2団体) <p>■問合せを踏まえた対応 今年度は、当課が工場見学を主催するよりも、工場見学に対する関心の高まりを踏まえ、問合せ団体等と事業者をつなぐ役割に専念した。</p>		
			補足事項	進捗率	9.1現在	(参加者数)
			3.31現在	(参加者数) H24 / 0人 H25 / 42人 H26 / 80人 計 / 122人	40.7 (%)	
成果目標	参加者 300人/3年		事業結果	<p>■開催時期など</p> <p>①時期 9月中下旬、11月中旬</p> <p>②見学先 電気機械器具製造事業所(駿河区、清水区) 中小製造事業所(清水区)</p> <p>③参加人数 電気機械器具製造事業所 70人 中小製造事業所 10人</p> <p>■概要 今回の見学会は、第一線を退いた60歳以上の方々で構成する団体などが、地元を見つめ直す機会として、優れたものづくり産業を知りたいとの申し出に基づくものである。 当課からは、団体が希望する事業所や開催日時などを確認するとともに、事業所にその旨をお伝えし、対応を依頼した。</p>		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>■特になし</p>	
	大施策					
	中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>(事務担当)記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>			
	基本方針					
	基本施策					
所属部会			<p>(事業担当)記載事項</p> <p>改善点</p> <p>・</p> <p>目標の未達成理由等</p>	<p>■今後の見学会開催について 製造業を営む工場見学に関しては、問合せ件数などから、市民の関心は若干ではあるものの、高まりを見せている。こうしたことから、今後は事業として取組むのではなく、問合せへの対応を充実させていきたい。</p>		
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 総務係					